

# ～教員おすすめ本～

No. 11

文芸学部 文学科 英語英米文学専攻  
藤澤 博康



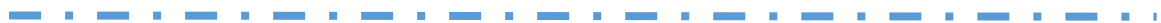
## 『世界の十大小説』上・下巻

W. S. モーム 著 ; 西川正身 訳

### 【先生からのコメント】

英文科に入学した私は英文学の授業ばかりで戸惑いました。「文学を読まないはずい」と焦り、図書館で出会ったのがこの本です。

小説家モームが紹介する十大小説は魅力的で、この本に紹介してあったオースティンの『高慢と偏見』を読み始めたのが私の英文学との付き合いの始まりでした。モームの『読書案内』もおすすめです。



## 『文学理論』

ジョナサン・カラー 著  
荒木映子, 富山太佳夫 訳 ; 富山太佳夫 解説

### 【先生からのコメント】

面白いけれど癖の強いモームの読書案内を通して世界の名作に親しんだら、次は読みの道具を増やしましょう。イーグルトンの『文学とは何か』や筒井康隆の『文学部唯野教授』は初心者には理解しにくい文学理論を分かりやすく説明してくれますが、少々古い。そこで、短い本に主要な文学理論をまとめた本書を推薦しておきます。

2017年5月26日  
近畿大学中央図書館